

令和7年度 第2回川口市産業労働行政審議会会議録

日 時 令和7年10月1日（水）
開 会 午後2時30分
閉 会 午後3時25分
場 所 川口市役所第一本庁舎 6階 601大会議室

出席者（委員）

飯田 雅弘	飯野 由希子	川端 庸子
吉田 優	青木 祥禎	石川 義明
小川 勝利	佐藤 義晴	竹村 英昭
辻 康二郎	寺山 樹生	富田 龍一郎
森 雄児	鈴木 勇	

（事務局）	江原 季佳	経済部長
	作田 勝憲	産業労働政策課長
	蓮沼 英樹	経営支援課長
	高橋 頼彦	産業振興課長
	佐藤 武弘	農政課長
	濱田 文子	産業労働政策課政策係長
	木内 秀行	産業労働政策課産業創出係長
	横山 敬子	経営支援課経営支援係長
	永瀬 充代	経営支援課雇用支援係長
	西田 靖史	産業振興課工業振興係長
	小山 晃	産業振興課商業観光係長
	安田 晃	農政課農政係長
	山縣 由直	農政課農業振興係長

会議録署名委員 飯野 由希子

	(開会)	14 : 30
事務局	出席委員の報告	
	傍聴人2名の報告	
議長	会議録署名人の指名	
議長	議題(1)川口市産業振興指針の改定について、事務局から説明を求める。	
事務局	(議題(1)について、資料に基づき説明する。)	
	(質疑応答)	
委員	<p>産業振興指針の目標を三つから一つにするとのことだが、改定前の「市内経済の好循環による産業が輝くまち」という目標が何を目標としているのか分かりづらく、非常に難しい書き方だと感じる。「循環」が意味するものは、地域経済循環のことを指しているかと理解した。目標を一つにまとめることは良いと思うが、目標がどういったことを意味するのか、どういった趣旨なのかを指針に記載していただけるとありがたい。</p> <p>「好循環」は地域経済循環率を上げることだとして、「輝く」とはどのようなことを想定しているのか。経済の好循環によって産業が輝くとはどういうことを指しているのか、色々な疑問が湧いてくる。地域経済循環分析をした結果、市として市内経済をどのように評価したのか、あるべき姿はどのようなものかを考え、それに向けてこの目標を掲げた、ということが記載されていると分かりやすくなる。次回審議会では、その点を明らかにしていただきたい。</p> <p>もう一点、人材育成についてだが、前回の産業振興指針策定から今般に至るまでの期間で人口減少が大きな課題となっており、人手不足がどんどん加速していると体感している。</p> <p>この問題は非常に大きく、人手不足であるから就職支援に力を入れる、ということでは済まない時代であり、DXや仕事のやり方を変えるとといったことでいかに人手不足を補うかが重要である。</p>	
事務局	指針の中で、目標の内容、趣旨を分かりやすく説明するということで承知した。	
	<p>補足だが、本市の地域経済循環率は埼玉県全体の平均や、さいたま市など近隣自治体に比べて低くなっており、この循環率を上げていくために改定案の五つの基本方針に掲げた内容を重点的に取り組んでいきたいと考えている。「輝く」など</p>	

	<p>の表現が分かりにくいという点については、部内で再度調整し、分かりやすい表現に変えていく。</p> <p>人材不足については、市内事業者から、人がいない、採用したい人材がいないという声を相当数いただいております、対応を検討している。現在検討している対応策としては、DXを導入することによって業務効率を上げ、少人数でも対応できるような状況にしていくことを考えている。これは単位施策として指針とは別に記載することを検討していたが、指針の項目として、DXを活用して生産性の向上を図り、人材不足を補っていくという記載の必要性も感じており、次回審議会までに記載内容を検討したい。</p>
委員	<p>「輝く」という表現を修正する必要はない。現状をどのように分析したのか、どのように対応しなければならないと考えたのか、そのために指針では何を掲げ、どのような姿にしていきたいのかを文章として記載してあれば、なぜこの目標としたのか分かりやすくなるので、そのような形をお願いしたい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
議長	<p>他に意見はあるか。</p>
委員	<p>人材不足と言われることが周囲でも非常に多く聞かれる状況だが、どの程度不足しているのか、何が原因で不足しているのかが明確になっていないように感じる。単純に人がいないのか、採用したいと考えるような人材がいないのか。</p> <p>人材不足の原因を探り、その対策を地道に行うことが必要ではないか。学校での教育も含めた対策が必要になるかもしれない。まずは、人手不足の原因を具体的に示していくことから始めると良いのではないか。</p>
事務局	<p>人材不足の原因を探ることは重要であると考えている。進学率の向上とともに少子化が進行し、新卒者やその親がファーストキャリアは大企業へという志向があり、セカンドキャリア、サードキャリアと転職していく段階で市内事業者へという状況が見受けられる。この状況は理解しているが、現状ではファーストキャリアで市内事業者を選んでいただくことに苦戦している。</p> <p>その対策として、市では市内事業者に就職していただいた若者に対して奨学金の返済補助や家賃補助を実施し、こういった施策を通じて雇用を増やしていきたいと考えている。教育に関する点は、教育担当部局へ相談して検討したいと考えるが、産業振興指針は経済に関する指針であることから、教育に関する内容を盛り込むことは難しいとご理解いただきたい。</p> <p>人材不足の原因については、何らかの記載を検討する。</p>
委員	<p>小さな業界や小さな事業者は人材を採用することも大変だが、採用しても人材</p>

	<p>が育たず、なかなか続かない状況がある。小規模な事業者は人材を育成していくことが難しく、学校教育と連携した対応により、人材を育成していくことも必要ではないかと感じている。簡単に出来ることではないため、時間をかけて進めていけるとよいのではないか。</p> <p>委員意見を踏まえた修正を行うことを含め、「市内産業の課題（案）」及び「基本方針（修正案）・基本方針説明内容（案）・重点プロジェクト（案）」を承認。</p>
議長	<p>議題（２）川口市地域貢献事業者の選考だが、議事は非公開のため傍聴人に一度退室していただく。</p>
	<p>（傍聴人２名退室）</p>
議長	<p>議題（２）川口市地域貢献事業者の選考について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>（議題（２）について、資料に基づき説明する。）</p>
	<p>（質疑応答なし）</p>
議長	<p>新規７件、更新３９件の申請者について、「認定」ということでご異議ないか。</p>
	<p>（異議なしとの声）</p>
議長	<p>了承いただいた全事業者について、市長に川口市地域貢献認定事業者として妥当である旨を報告する。</p>
	<p>非公開の議事は終了したため、傍聴人に再度入室していただく。</p>
	<p>（傍聴人２名再入室）</p>
議長	<p>続いて、報告事項（１）令和７年度若年者対象支援について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>（報告事項（１）について、資料に基づき説明する。）</p>
	<p>（質疑応答なし、その後閉会）</p>
	<p style="text-align: right;">15 : 25</p>